

## ◀世界債券型▶

運用実績 (2025年3月末日現在)					
	騰落率 (%) <sup>(注1)</sup>	1年	3年	5年	設定来
		△1.67	2.24	5.77	70.09
	(注) 運用開始日は1999年4月1日。				
運用方針	主に国内外の公社債に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。NOMURA-BPI (総合)50%、FTSE 世界国債インデックス (除く日本)50% で加重平均した複合指数を上回る投資効果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、上記基本資産配分を概ね維持しながら、当社が選定した内外の公社債を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	RIC Russell Investments Global Bond Fund Class A <sup>*2</sup> ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1 (適格機関投資家限定) <sup>*1</sup> グローバル・ボンド・ファンドVA (適格機関投資家専用) <sup>*1</sup>				

## ◀金融市場型▶ <sup>(注6)</sup>

運用実績 (2025年3月末日現在)					
	騰落率 (%) <sup>(注1)</sup>	1年	3年	5年	設定来
		△0.09	△0.42	△0.75	107.37
	(注) 運用開始日は1986年12月1日。				
運用方針	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することにより、中長期的に安定した成長を目指します。NOMURA-BPI (総合短期) を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、当社が選定した国内の公社債を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	フィデリティ・マネー・プール VA (適格機関投資家専用) <sup>*1</sup>				

## ◀グローバル・バランス型▶ <sup>(注7)</sup>

運用実績 (2025年3月末日現在)					
	騰落率 (%) <sup>(注1)</sup>	1年	3年	5年	設定来
		3.46	27.68	76.68	271.97
	(注) 運用開始日は2001年5月1日。				
運用方針	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。基本的には為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。(為替変動リスクがあります。) MSCI WORLD インデックス50%、FTSE 世界国債インデックス50% で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、上記基本資産配分を概ね維持しながら、当社が選定した世界各国の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	(グローバル債券運用) Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J <sup>*2</sup> グローバル・ボンド・ファンドVA (適格機関投資家専用) <sup>*1</sup> (グローバル株式運用) Architas Global Equity Fund Class I <sup>*2</sup>				

※1は私募投信です。

※2は外国籍投資信託 (海外で設定・運用されている投資信託) です。

(注1) 騰落率は、当月末における、上記各期間のユニットプライスの変動率を表しています。

(注2) マルチ・マネージャー運用：複数の運用会社を組み合わせた運用をいいます。

(注3) バリュースタイル：割安株を中心に投資する運用スタイルをいいます。

(注4) グロース・スタイル：成長株を中心に投資する運用スタイルをいいます。

(注5) 特別勘定の運用関係費の引き下げを目的として、2024年12月中に投資信託を以下の通り変更いたしました。特別勘定の運用方針の変更はありません。

特別勘定：欧州株式型

投資信託：「フィデリティ・欧州株・ファンド」を「フィデリティ・欧州株・ファンド (適格機関投資家専用)」へ変更

(注6) 「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。

ただし、低金利環境下 (マイナス金利を含む) では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

(注7) 特別勘定の運用関係費の引下げおよび運用収益の向上を目的として、2025年6月中に投資信託を以下の通り変更いたします。特別勘定の運用方針の変更はありません。

特別勘定：グローバル・バランス型

投資信託：「アーキタス・グローバル・エクイティ・ファンド」から「アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション」および「セレクション・ジャパン・エクイティ」へ変更



アクサ生命保険株式会社

## 変額保険「リバティ (終身型)」「リバティ (有期型)」、ユニット・リンク保険 (有期型) 2024年度 特別勘定決算のお知らせ

### 1. 運用環境 (2024年4月～2025年3月)

#### 【日本株式市場】

年度末の TOPIX (東証株価指数) は前年度末比-3.97% の2,658.73ポイント (前年度末2,768.62ポイント) となりました。米国株式市場が上昇した影響等から7月に TOPIX は史上最高値を更新しましたが、日銀の利上げや半導体を巡る米中対立激化への懸念による半導体関連銘柄の急落、米国の景気減速懸念等により急速に下落する局面がありました。急落後の自律反発や日銀の追加利上げへのスタンスが確認され持ち直したものの年度末にかけてトランプ関税による景気悪化懸念が要因となり、下落して年度末を迎えました。

#### 【外国株式市場】

米国株式市場では、年度末の NY ダウ工業株30種は前年度末比 +5.51% の42,001.76ドル (前年度末39,807.37ドル) となりました。米国のインフレが落ち着きを見せているという観測や、FRB (連邦準備制度理事会) が9月に4年半ぶりの利下げを実施したこと、また、トランプ大統領の新しい経済政策に対する期待等を背景に、米国の株式市場は上昇し、NY ダウは史上最高値を更新しました。2025年に入ってから、トランプ大統領の関税政策に対する不透明感や、米国経済にスタグフレーションの可能性が示唆されたこと等から上昇幅が縮小しましたが、前年度末比では上昇しました。欧州株式市場では、前年度末比で独 DAX 指数は+19.85%、仏 CAC 指数は-5.06% となりました。米国の景気悪化懸念等から下落して推移したものの、ドイツの株式市場は財政拡張政策への転換による、防衛費やインフラ投資の拡大期待等から上昇しました。一方でフランスの株式市場は欧州自体の景気の低迷やトランプ関税に対する懸念等を要因として下落しました。

#### 【日本債券市場】

10年国債の金利は上昇 (価格は下落) し、年度末には1.490% (前年度末0.727%) となりました。年度を通じて2度の政策金利の引き上げの実施により政策金利を16年ぶりの0.5% としたことや、その後も追加利上げ観測が強まったこと等が金利上昇の要因となりました。

#### 【外国債券市場】

米国債券市場では、10年国債の金利は上昇 (価格は下落) し、年度末には4.205% (前年度末4.200%) となりました。9月にはFRBにより0.5% の大幅利下げが実施される等、米国の長期金利は低下しましたが、その後利下げペースは緩やかになるとの観測から上昇に転じ、トランプ政権の新経済政策が財政赤字の拡大や物価上昇をもたらすとの見方等から、米国10年国債の金利は、1月に一時5.0% に迫る水準まで上昇しました。その後、インフレ関連の経済指標が落ち着いてきたこと等から上昇幅は縮小しました。欧州債券市場では、独10年国債の金利は上昇 (価格は下落) し、年度末には2.738% (前年度末2.298%) となりました。ECB (欧州中央銀行) による利下げが複数回実施されたこと等は金利の低下圧力となりましたが、米国債金利の上昇の影響を受けたことや、年度末にかけてドイツが防衛費やインフラ投資の拡大に向けた財政拡張政策への転換を行ったこと等を受けて、金利は上昇して引けました。

#### 【外国為替市場】

米ドル / 円相場は、年度末には前年度末比-1.89円の149.52円 (前年度末151.41円) となりました。6月には、FRB による利下げ回数の見通しが大きく減少したことや日銀が国債の買い入れの減額を先送りしたこと等を受けて、急激に米ドル高円安となる局面もありました。その後は、日銀による利上げが実施されたことで日米金利差が縮小するとの見方や、トランプ政権が貿易収支の改善のために円高圧力をかけるとの見方が台頭したこと等から、米ドル安円高の展開となりました。

ユーロ / 円相場は、年度末には前年度末比-1.16円の162.08円 (前年度末163.24円) となりました。6月の政策理事会以降、ECB による複数回の利下げが実施された一方、日銀による利上げが実施されたこと等から、日欧金利差が縮小するとの見方等により、ユーロ安円高の展開となりました。

### 2. 特別勘定資産の内訳 (2024年度末)

(単位：百万円、%)

区 分	日本株式型		日本株式積極運用型		米国株式型		欧州株式型		世界株式型 (為替ヘッジなし)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・その他	1,527	4.3	154	4.2	1,881	4.2	260	4.0	363	4.7
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	33,988	95.7	3,520	95.8	43,237	95.8	6,182	96.0	7,447	95.3
貸 付 金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	35,516	100.0	3,674	100.0	45,119	100.0	6,442	100.0	7,811	100.0

区 分	世界株式型 (為替ヘッジあり)		世界債券型		金融市場型		グローバル・バランス型	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・その他	77	4.6	395	4.3	303	5.7	1,992	4.3
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 株 式	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	1,596	95.4	8,802	95.7	5,009	94.3	44,097	95.7
貸 付 金	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	1,673	100.0	9,197	100.0	5,312	100.0	46,089	100.0

(注) 金額は百万円未満を切り捨て。構成比は小数点第2位を四捨五入。

お問合せ窓口：カスタマーサービスセンター 0120-911-999

受付時間 月～金 9:00～18:00

土 9:00～17:00 (日・祝日、12/30～1/4を除く)

### 3. 特別勘定の運用収支状況 (2024年度末)

(単位：百万円)

区 分	日本株式型	日本株式 積極運用型	米国株式型	欧州株式型	世界株式型 (為替ヘッジなし)
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
利息配当金等収入	-	-	-	-	-
有価証券売却益	16	0	159	18	12
有価証券償還益	-	-	-	-	-
有価証券評価益	595	-	1,916	305	396
為 替 差 益	-	-	-	0	-
その他の収益	-	-	-	-	-
有価証券売却損	133	4	2	63	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-
有価証券評価損	-	102	-	59	-
為 替 差 損	-	-	-	1	-
その他の費用	-	-	-	-	-
収 支 差 額	478	△106	2,073	200	408

区 分	世界株式型 (為替ヘッジあり)	世界債券型	金融市場型	グローバル・ バランス型
	金 額	金 額	金 額	金 額
利息配当金等収入	-	-	-	-
有価証券売却益	3	18	-	116
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	27	84	-	1,518
為 替 差 益	-	1	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	0	5	-	10
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	-	211	1	-
為 替 差 損	-	0	-	-
その他の費用	-	-	-	-
収 支 差 額	30	△113	△1	1,624

(注) 金額は百万円未満を切り捨て。

### 4. 保有契約高 (2024年度末 /9勘定合計)

(単位：件、百万円)

項 目	件 数	金 額
変額保険 (終身型)	43,448	441,302
変額保険 (有期型)	197	1,262
ユニット・リンク保険 (有期型)	5,903	28,219
積立ユニット・リンク保険特約	197	718
合 計	49,745	471,502

(注) 金額は百万円未満を切り捨て。

### 5. 特別勘定の運用状況

#### ◀日本株式型▶

運用実績 (2025年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注1)	1.28	35.02	88.03	212.86
(注) 運用開始日は1986年12月1日。					
運用方針	主に日本企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。東証株価指数 (TOPIX) を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に日本企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、複数の投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持し、マルチ・マネージャー運用 (注2) の投資信託やバリュースタイル (注3) の投資信託を組み合わせる運用を行いました。今後も、引き続き、複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	Selection Japan Equity Class I *2, HC日本株バリュースタイルマルチマネージャーファンド (適格機関投資家専用) *1				

#### ◀日本株式積極運用型▶

運用実績 (2025年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注1)	△2.78	32.81	100.57	98.61
(注) 運用開始日は2001年5月1日。					
運用方針	主に日本の成長企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。東証株価指数 (TOPIX) を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に日本の成長企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、複数の投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持し、グロース・スタイル (注4) の投資信託に投資しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド (適格機関投資家専用) *1, フィデリティ・日本成長株・ファンド VA3 (適格機関投資家専用) *1				

#### ◀米国株式型▶

運用実績 (2025年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注1)	3.89	44.24	180.06	3,269.71
(注) 運用開始日は1986年12月1日。					
運用方針	主に米国企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。S&P500指数を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に米国企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、マルチ・マネージャー運用 (注2) の投資信託を組み入れて運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	Selection US Equity Class I *2				

#### ◀欧州株式型▶ (注5)

運用実績 (2025年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注1)	2.48	36.59	104.87	278.78
(注) 運用開始日は1999年4月1日。					
運用方針	主に欧州企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。MSCIヨーロッパ指数を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に欧州企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、マルチ・マネージャー運用 (注2) の投資信託を組み入れて運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き、複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	RICII Russell Investments Pan European Equity Fund Class B *2, フィデリティ・欧州株・ファンド (適格機関投資家専用) *1				

#### ◀世界株式型 (為替ヘッジなし)▶

運用実績 (2025年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注1)	5.40	47.88	182.59	467.48
(注) 運用開始日は2001年5月1日。					
運用方針	主に世界各国の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。MSCI KOKUSAI インデックスを上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に世界各国の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、当社が選定した世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B (為替ヘッジなし) (適格機関投資家限定) *1 インデックスファンド海外株式 (ヘッジなし)				

#### ◀世界株式型 (為替ヘッジあり)▶

運用実績 (2025年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注1)	1.67	7.34	78.26	181.61
(注) 運用開始日は2001年5月1日。					
運用方針	主に世界各国の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジを行います。MSCI KOKUSAI インデックス (円ヘッジ) を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に世界各国の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、当社が選定した世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2025年3月末日現在)	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A (為替ヘッジあり) (適格機関投資家限定) *1 インデックスファンド海外株式 (ヘッジあり)				